

# 稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



愛知県植木センター



発行所／稲沢市観光協会 発行人／鈴木 清 稲沢市朝府町15番12号(稲沢市産業会館内)  
[TEL] 0587-22-1414 [FAX] 0587-22-1424 [HP] <http://www.inazawa-kankou.jp/> [E-mail] [inakan@inazawa-kankou.jp](mailto:inakan@inazawa-kankou.jp)

NO.02  
2007.1

印刷:日進堂印刷所

# 新年のあいさつ

≫ 新年明けましておめでとうございます。

平成19年のすがすがしい新春をご家族でお迎えが出来ましたこと心からお喜び申し上げます。

昨年は、多くの稲沢市民のご要望に対して、稲沢市、稲沢市議会のご理解のもと、平成18年8月7日に稲沢市観光協会として発足をすることが出来ました。設立にあたり組織充実に努めてまいりました結果、多くの企業や一般市民の皆様の賛同をいただき、300を超える会員のご加入をいただき、本当に感謝をいたしております。

協会として、早速事業にも取り組んでまいりました。稲沢観光ガイドマップ、広報誌(観光ニュース)発刊、ホームページ開設、とくに特産品の販売については、観光協会の設立PRを兼ね、名古屋市栄における、合併市町紹介展、一宮名鉄百貨店での木曾川郷土自慢観光物産展を始め、6会場において出店し、祖父江の銀杏、なおい飴、

ぎんなん入りきしめん等を販売するなど、積極的なPR活動に力を入れてまいりました。幸いにしていずれの会場においても大変好評でした。

新しい年を迎え、稲沢市を観光都市として、市外から多くの方に来ていただき、心のこもったおもてなしをしたいと考えております。

新しい事業として、愛知県植木センター(矢合地区)において、第1回梅まつりを3月に開催する予定をしております。

又、観光情報の発信、観光マップ等の充実、特産品販売、新たな観光資源、特産品の発掘にも力をいれてまいります。

協会の組織強化の為、引き続き会員の加入増強に努めてまいりますので、会員を始め、市民各位のご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつと致します。



稲沢市観光協会 会長  
鈴木 清



稲沢市観光協会 名誉会長  
稲沢市長

大野 紀明

≫ 輝かしい2007年の年頭にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

観光協会も昨年8月の設立以来2年目に入り、順調に事業計画を実施されるとともに、徐々に事業内容も充実が図られてまいりました。これも偏に会員の方々はじめ関係各位のご理解とご協力の賜と、心より感謝申し上げる次第であります。

これまでは従来から実施されている事業への参加協力をを行い、特産品販売や観光PRを中心に行われてきました。今後はさらに、新たな事業への取り組みが期待されます。今年の干支の猪のように、しっかりと地に足を付け、目標へ向かって一直線に進んでいければ、おのずと道も開けてくるものと考えます。

これからは、この3月に定年を迎えるいわゆる団塊の世代はじめ高齢者など余暇活動を楽しむ

人口が急激に増加することが予測されています。

こうした社会情勢をチャンスと捉え、協会としましても既存の観光資源の発掘や、新規資源の開発を行い積極的に市内外に情報発信を行うことが重要であります。

時あたかも国においては、新たに観光立国基本法がこの1月1日付けで施行され、ますます観光に対する取り組みが重要視されてまいりました。

行政といたしましても、観光による活力あるまちづくりを行うために、将来を見越した計画の策定も視野に入れて長期的な視点で観光に対する支援を行っていきたいと考えておりますので、会員の皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



## 監事

北住多喜生

都築克幸

友松隆利

渡辺和好

齊場一雄

服部正見

酒井章治

上条貴

松岡昌功

内藤久嗣

近藤富夫

金森信之

川瀬道船

山内晴雄

国立英夫

近藤修

加藤睦郎

福島俊治

藍原一

村井邦光

竹内正憲

谷真仁

神戸廣之

林和伸

田中省三

山口義信

白下英之

齊藤茂

伊藤弘道

田中浩三

山田信行

田中浩三

鈴木清

大野紀明

吉川昭

吉川伸二

久保田浩文

田島昊

服部開一

吉川伸二

謹賀新年

稲沢市観光協会 役員名簿  
(十一月現在)



各種イベントに参加し観光PRと特産品の販売を行う。  
いずれの会場においても大変好評でした。

### 合併市町村紹介展

- 開催日／平成18年9月2日[土]～3日[日]
- 場所／オアシス21 銀河の広場(名古屋市中区栄)

愛知県下において昨年合併した13の新市町が参加して各地に伝わる民族芸能やお祭り、パフォーマンス(太鼓、踊りなど)をはじめ、観光PR、特産品の販売をする合併市町村紹介展がありました。

ここに観光協会として参加し、祖父江銀杏、ぎんなんきしめん、あしたばそうめん、ぎんなん入りコンニャク、なおい飴等の販売をしました。

### 美濃路フェスタ

- 開催日／平成18年10月15日[日]
- 場所／萩原商店街(美濃路萩原宿)

美濃路街道連携協議会(一宮市、稲沢市、清須市、羽島市、大垣市)は東海道と中山道を結ぶ重要な街道として栄えた、美濃路の歴史的役割を検証し、美濃路の活性化と街づくりに繋げる一環として美濃路フェスタが開催され、各市の特産品等の販売がありました。観光協会として、祖父江銀杏、ぎんなんいりきしめん等めん類、明日葉シフォンケーキ、ぎんなん入りコンニャクの販売をしました。

### 平成18年度稲沢まつり

- 開催日／平成18年10月21日[土]～22日[日]
- 場所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館等

観光協会として国府宮神社参道において開催された稲沢まつりに出店し、観光PRを兼ね、ガイドブックを来場者の皆様に配付し、又稲沢市の特産品10品目の販売をしました。

(なおい飴、五加茶、紅山茶花まんじゅう、明日葉うどん、よりぼし漬け、銀杏入りういろう、銀杏もなか、竹炭、木こよみ2007、そぶえ銀杏)



### 第6回木曽川郷土自慢観光物産展

- 開催日／平成18年10月27日[金]～29日[日]
- 場所／名鉄百貨店一宮店

木曽川をはじめとするこの地域をもっと好きになり、いきいきとした触れあいの輪が広がっていくことを目的に、さらに他地域との連携を発展させ、木曽川沿川地域の活性化を図るため、名産品の販売、観光名所の紹介をする観光物産展が開催され、多くの来訪者で賑いました。観光協会としても参加し、祖父江飲食組合、大橋米店に出店を依頼をし稲沢市の特産品(銀杏等)等を販売しました。



### 第36回稲沢市消費生活展

- 開催日／平成18年11月4日[土]～5日[日]
- 場所／稲沢市勤労福祉会館

「今を知ろう、家族のために、未来のために」をキャッチフレーズに関係団体の皆様方のご協力を得て消費生活展が開催され、飲食店組合等の協力のもと特産品の販売をしました。

イ飲食店組合 やきそば、みたらし、銀杏、さしみコンニャク等  
ロ大橋米店 銀杏きしめん等麺類、銀杏  
ハボランティア 明日葉まんじゅう・シフォンケーキ、ぎんなん入りういろう

### そぶえイチョウ黄葉まつり

名鉄ハイキング大会参加者に稲沢市をPR

- 開催日／平成18年12月2日[土]
- 場所／国分小学校職員の駐車場

そぶえイチョウ黄葉まつりには稲沢市外の皆さんが沢山来訪されますので稲沢の観光PRをするのに絶好のチャンスと考え、名鉄ハイキング大会の参加者2500人に湯茶の接待及び銀杏の試食等をしてもらい稲沢市のPRをしました。

内容(木こよみの販売、観光パンフレット配布、湯茶の接待[五加茶]、菓子、あめ、ぎんなん試食等)

## 01 天下の奇祭 国府宮はだか祭

information

- 平成19年3月2日〔金〕 ●場所／尾張大國霊神社（国府宮神社）TEL0587-23-2121
- 交通／名鉄名古屋本線「国府宮」駅下車 徒歩5分・JR東海道本線「稲沢」駅下車 徒歩15分

42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円から、サラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が集まります。寒さを吹き飛ばす「ワッショイ」の掛け声と、もみ合いの熱気が国府宮神社にはちぎれます。裸男たちは、群れをなし、威勢よく「なおい笹」を捧げ、拝殿へ駆け込みます。これは、裸になれない老若男女が、年齢等を書いて祈念を込めた布（なおいぎれ）を結び付けた青竹を、裸男が身代わりとして担ぎ込み厄除けを祈願するのです。

午後4時30分頃、参道の一角に素っ裸の神男（しんおとこ）が、一団に守られてひそかに登場します。見つけた裸男たちが「ウォー」と殺到し、神男に触れて厄を落とそうと凄まじいもみ合いになります。浴びせられる手桶の水は、体熱でたちまち湯煙となり、水にひるむスキをついて、神男の一団がジリジリ儼追殿へ達するまでの約30分間がこの奇祭のクライマックスです。



### 大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり（約4トン）という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。



### 儼追神事（はだか祭）

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。



### 夜儼追神事（よなおいしんじ）

翌日の午前3時、災厄をつきこんだ土餅を背負った神男が境内へと追い出されます。神官はこの餅を地中に埋め、災厄を封じ込めます。

### ◆はだか祭関係行事日程表（平成19年）

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月19日〔月〕	午前9時	なおいしんじしめぼしらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
2月19日〔月〕	午前10時	なおいにん（しんおとこ）せんていしき 儼負人（神男）選定式	正月2日
2月23日〔金〕	午前10時	おおかみもちこめあ 大鏡餅米洗い	正月6日
2月24日〔土〕	午前6時	おおかみもちつき 大鏡餅搗	正月7日
2月27日〔火〕	午後5時	なおいにん（しんおとこ）さんろう 儼負人（神男）参籠	正月10日
2月28日〔水〕	午前9時	おおかみもちがざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日
2月28日〔水〕	午前9時	つちもちつきしんじならびにひふしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日
3月1日〔木〕	午後1時	おおかみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
3月1日〔木〕	午後7時	ちょうやしんじ 庁舎神事	正月12日
3月2日〔金〕	午後3時	なおいしんじ 儼追神事（はだか祭）	正月13日
3月3日〔土〕	午前3時	よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
3月3日〔土〕	午前8時	おおかみもちもちきり 大鏡餅餅切	正月14日
3月6日〔火〕	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
3月11日〔日〕	午前10時	なおい茶会 <small>ちゃかい</small>	

## 02 第1回いなざわ梅まつり

information

- 平成19年3月3日〔土〕・4日〔日〕 ●AM9:30～PM4:00
- 場所／愛知県植木センター

稲沢市は全国的に植木、苗木の日本四大生産地の一つとして、知られております。この地に開設されております愛知県植木センターは植木、苗木の研究・研修機関として多くの方々に親しまれております。

センターには研究のため、多種多様な樹木が集められており、四季折々に花開く花木は素晴らしく、近郊の住民の憩いの場として以前から有名であります。とりわけ、梅品種園は110種類、200本の梅が植栽されており全国的にも大変貴重な見本園であり、開花時期には多数の見学者でにぎわいます。

古来より梅は日本人にとって春を感じさせる花として、古には花見といえば梅を愛でるのが慣わしになっておりました。早春に美しい花を咲かせる梅の花を県民の皆様にも堪能していただくと共に愛知県植木センターの充実した施設を広く内外にPRをするにも絶好の機会ととらえ、梅まつりを企画し開催する予定であります。



観光協会 会員募集中！

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上